

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月 日

協議会名: 大樹町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
大樹町	運行系統名: 市街地循環バス 運行区間: コスモール大樹～役場前～コスモール大樹 運行回数: 4回/日、580回/年(実績) 運賃: 100円/回	利用者数の増加を図るために「コスモ」や十勝バス広尾線なども含めたバスマップの作成について情報収集、作成に向けた準備を進めている。 また、目標・効果達成状況について、昨年度に引き続き、利用者数だけではなく、収支率も目標値に位置づけ、持続可能性の観点からも評価を行うこととした。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 目標①「利用者数」については、目標2,500人以上に対し2,258人と目標値を達成することができず、前年度と比較しても、日当たり利用者数は減少していることから、今後も継続的な利用促進を図っていく。 目標②「収支率」について、①が目標に届かなかったこともあり、収支率の目標値4.0%以上に対し3.97%と目標は達成することができなかった。 目標③「公的資金投入額」については、運行業務に係る委託料単価の増額と物価高騰による燃料費の高騰等があったものの、目標6,004千円/年以内に対し5,172千円/年であった。 今後も継続的に交通事業者とのコミュニケーションを図りながら、持続可能性の確保を図っていく。	・今後さらに利用者を増加させていくためには、より周知活動に力を入れることも重要であるため、引き続き、HPでの周知や、配布している市街地循環バス・コミュニティバス「コスモ」の路線図・時刻表を掲載したチラシに加え、市街地循環バス・コミュニティバス「コスモ」や十勝バス広尾線なども含めたバスマップの作成を進める。 ・一般利用者の獲得に向け、さらなる利用促進策の実施や、運行日、時間帯のニーズについて情報収集を行い、利用者の足の確保や外出する機会を創出していく。